

平成 27 年度乳がん検診実態調査結果（平成 24 年度分）について

文責 小林茂樹

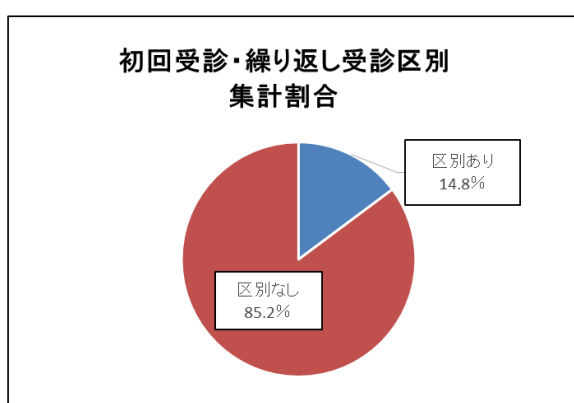
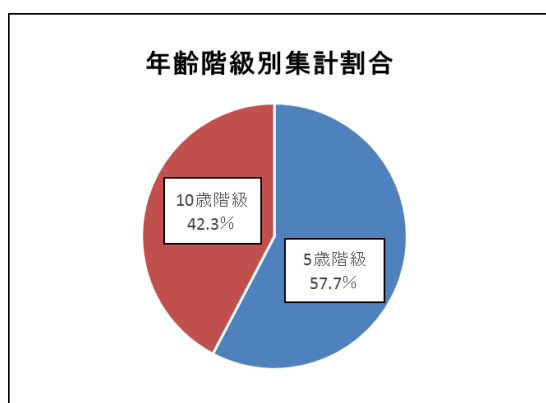
日本乳癌検診学会主導の全国乳がん検診実態調査が平成 23 年よりはじまり、今年度で 5 年目となります。三重県においては県内の乳がん検診実施施設すべてのデータを集計し、日本乳がん検診学会へ一括して報告を行っています。県内の集計対象施設は 52 で、平成 27 年度は 26 施設（50.0%）でした。平成 27 年度の全国集計は日本乳癌検診学会において、現在集計中であり、平成 26 年度の協力施設数は、東京都の 1 位に次いで、沖縄県と同数の 2 位となりました。県内医療機関のデータを取りまとめ、一括して報告している県は、平成 26 年現在で、三重県以外にはありません。今回は、全国集計に先駆けて、三重県分の集計データをご紹介します。

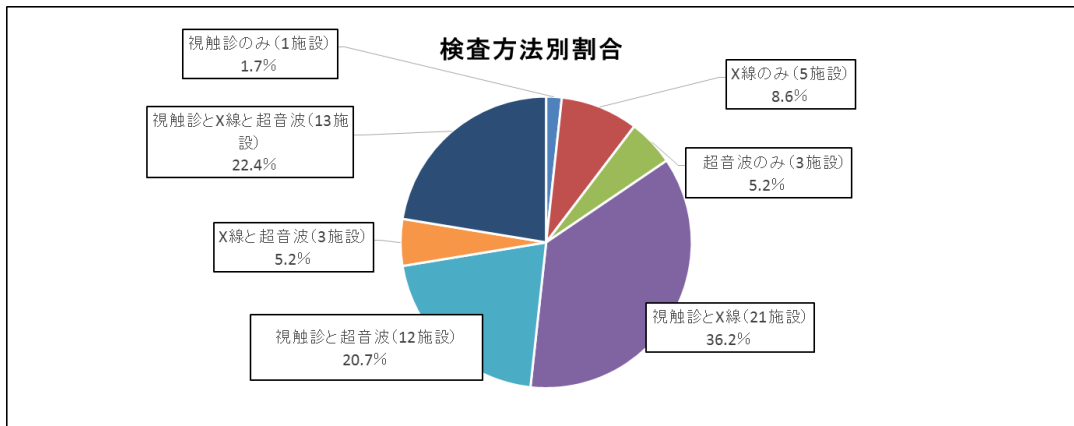
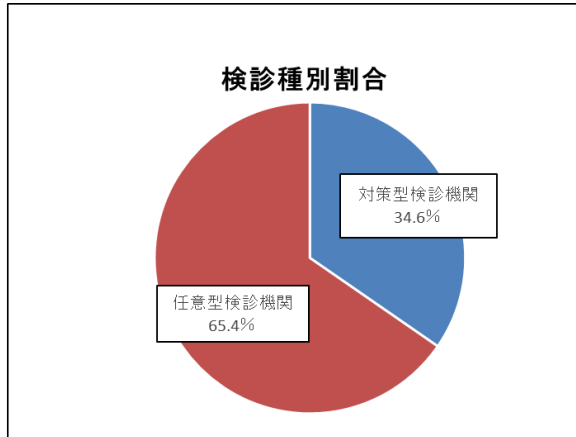
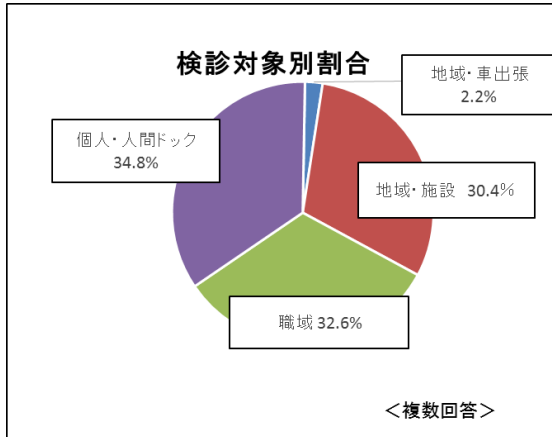
1.調査期間	平成27年5月29日～7月31日	
2.対象施設(三重県)		
調査対象施設	52施設	
協力申し出機関	26施設	50.0%
調査実施機関	26施設	50.0%

保健医療 圏域	回答施設				
	H27	H26	H25	H24	H23
北勢	8施設	7施設	7施設	7施設	7施設
中勢伊賀	9施設	10施設	11施設	10施設	9施設
南勢志摩	6施設	5施設	5施設	5施設	5施設
東紀州	3施設	3施設	3施設	3施設	1施設
合計	26施設	25施設	26施設	25施設	22施設

【集計協力施設リスト】

地域	施設名
桑名	1 桑名東医療センター
	3 ヨナハ総合病院
	4 くわな健康クリニック
	5 湾岸さくらクリニック
四日市	6 四日市羽津医療センター
	7 四日市健診クリニック
	8 山中胃腸科病院
津	9 塩川病院
	10 三重大学病院
	11 三重県健康管理事業センター
	12 遠山病院
	13 岩崎病院
	14 近畿健康管理センター
	15 フェニックス健診クリニック
	16 三重中央医療センター
	17 松阪中央総合病院
松阪	18 済生会松阪総合病院 健診センターあさひ
	18 松阪市民病院
伊勢	19 伊勢赤十字病院
	20 伊勢慶友病院
名張	21 名張市立病院
	22 寺田病院
志摩	23 三重県立志摩病院
尾鷲	24 尾鷲総合病院
	25 西井外科胃腸科
紀南	26 紀南病院





検査項目別 プロセス指標値【平成24年度検診分】

検査項目	受診先	①受診者数	②要精密検査者数	要精密検査率 ②÷①	③精密検査受診者数	精密検査受診率 ③÷②	④乳がん発見数	(早期がん)	(進行がん)	乳がん発見率 ④÷①	陽性反応適中度 ④÷②	
三重県合計	H24年度分	67,279	4,026	6.0%	2,665	66.2%	119	44	16	0.18%	3.0%	73.3%
三重県合計	H23年度分	68,564	4,489	6.5%	3,003	66.9%	125	18	12	0.18%	2.8%	60.0%
【参考】 日本乳癌検診学会(平成23年度分)				5.8%		79.6%				0.24%	4.2%	72.6%
許容値				11.0%以下		80%以上				0.23%以上	2.5%以上	

【県内における精検受診率】

受診者数	要精検者数	要精検率	【参考】 H23要精検率	【参考】 H22要精検率	【参考】 H21要精検率	【参考】 H20要精検率
67,279	4,026	6.0%	6.0%	6.9%	6.8%	6.8%

三重県においては、全国平均と比較して精密検査受診率の低さが問題となっています。集計にご協力いただいている施設は、乳がん検診を精力的に実施していただいている施設と考えられ、三重県全体ではさらに精密検査受診率の低下が予想され、検診精度の低さが浮き彫りとなっています。このため、がん発見率、陽性反応適中度が低値となり、残念ながら現時点ではプロセス指標としての妥当性が極めて低い状況です。

【乳がん検診実施に係る精度管理チェックリスト集計結果】対象：26 市町

1. 受診者への説明		H24年度	H23年度	H22年度	H21年度	H20年度
(1) 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを事前に明確に知らせているか	はい 21施設	80.8%	80.0%	88.5%	64.0%	77.3%
	いいえ 5施設	19.2%	20.0%	11.5%	36.0%	22.7%
(2) 精密検査の方法や内容について説明しているか	はい 18施設	69.2%	72.0%	80.8%	72.0%	72.7%
	いいえ 8施設	30.8%	28.0%	19.2%	28.0%	27.3%
(3) 精密検査の結果の(市町への報告など)の個人情報の取り扱いについて、受診者に対し十分な説明を行っているか	はい 21施設	80.8%	84.0%	80.8%	80.0%	68.2%
	いいえ 5施設	19.2%	16.0%	19.2%	20.0%	31.8%
2. 問診および撮影の精度管理		H24年度	H23年度	H22年度	H21年度	H20年度
(1) (40歳以上の)検診項目は、問診、視・触診、マンモグラフィ検査としているか	はい 22施設	84.6%	84.0%	80.8%	88.0%	95.5%
	いいえ 4施設	15.4%	16.0%	19.2%	12.0%	4.5%
(2) 問診記録は少なくとも5年間は保存しているか	はい 26施設	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(3) 乳房エックス線撮影装置が日本医学放射線学会の定める仕様基準(注1)を満たしているか	はい 25施設	96.2%	96.0%	96.2%	96.0%	100.0%
	いいえ 1施設	3.8%	4.0%	3.8%	4.0%	0.0%
(4) 乳房エックス線撮影における線量および写真の画質について、第三者による外部評価を受けているか	はい 17施設	65.4%	64.0%	65.4%	68.0%	68.2%
	いいえ 9施設	34.6%	36.0%	34.6%	32.0%	31.8%
(5) 撮影技師はマンモグラフィの撮影に関する適切な研修(注2)を修了しているか	はい 24施設	92.3%	92.0%	92.3%	88.0%	95.5%
	いいえ 2施設	7.7%	8.0%	7.7%	12.0%	4.5%
3. 読影の精度管理		H24年度	H23年度	H22年度	H21年度	H20年度
(1) マンモグラフィ読影講習会(注2)を修了し、その評価試験の結果がAまたはBである者が、読影に従事しているか	はい 25施設	96.2%	96.0%	96.2%	96.0%	95.5%
	いいえ 1施設	3.8%	4.0%	3.8%	4.0%	4.5%
(2) 読影はダブルチェックを行っているか(うち1人はマンモグラフィの読影に関する適切な研修(注2)を修了しその評価試験の結果がAまたはBである)	はい 25施設	96.2%	92.0%	96.2%	92.0%	90.9%
	いいえ 1施設	3.8%	8.0%	3.8%	8.0%	9.1%
(3) マンモグラフィ写真は少なくとも3年間は保存しているか	はい 26施設	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	いいえ 0施設	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(4) 検診結果は少なくとも5年間は保存しているか	はい 26施設	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	いいえ 0施設	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. システムとしての精度管理		H24年度	H23年度	H22年度	H21年度	H20年度
(1) 精密検査結果および治療(注3)結果の報告を、精密検査実施機関から受けているか。	はい 16施設	61.5%	60.0%	65.4%	56.0%	63.6%
	いいえ 10施設	38.5%	40.0%	34.6%	44.0%	36.4%
(2) 診断のための検討会や委員会(第三者の乳がん専門家を交えた会)を設置(または参加)しているか	はい 13施設	50.0%	52.0%	50.0%	44.0%	36.4%
	いいえ 13施設	50.0%	48.0%	50.0%	56.0%	63.6%
(3) 都道府県がプロセス指標(受診率、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)に基づく検討ができるようデータを提出しているか (プロセス指標(受診者数、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)に基づく検討ができるようデータを収集しているか)	はい 13施設	50.0%	60.0%	61.5%	56.0%	45.5%
	いいえ 13施設	50.0%	40.0%	38.5%	44.0%	40.9%
(4) 実施主体へのがん検診の集計・報告は、地域保健・健康増進事業報告に必要な項目で集計しているか (がん検診の結果を、乳癌検診学会全国集計に必要な項目で集計しているか)	はい 17施設	65.4%	72.0%	69.2%	72.0%	50.0%
	いいえ 9施設	34.6%	28.0%	30.8%	28.0%	31.8%
(注1) 乳がん検診に用いるエックス線装置の仕様基準: マンモグラフィによる乳がん検診の手引き第5版、マンモグラフィガイドライン第3版参照						
(注2) マンモグラフィ撮影、読影及び精度管理に関する基本講習プログラムに準じた講習会基本講習プログラムに準じた講習会とは、検診関連6学会(日本乳癌検診学会、日本乳癌学会、日本医学放射線学会、日本産科婦人科学会、日本放射線技術学会、日本医学物理学会)から構成されるマンモグラフィ検診精度管理中央委員会の教育・研修委員会の行う講習会等をいう。なお、これまで実施された「マンモグラフィ検診の実施と精度向上に関する調査研究」班、「マンモグラフィによる乳がん検診の推進と精度向上に関する調査研究」班および日本放射線技術学会乳房撮影ガイドライン・精度管理普及班による講習会等を含む						
(注3) 組織や病期把握のための治療など				改善		

精度管理に係るチェックリスト集計の5か年の推移では、4. システムとしての精度管理の達成率の低さと改善の悪さが目立っています。今後、組織型検診を目指すべく、がん登録データと検診データとの比較による精度管理を行い、地域別のがん対策を行ってゆく上でも、がん検診システムとしての精度管理を向上させることが重要と考えられます。